

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

事業名 ドクターへリ共同運航経費負担金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療整備係 電話番号：058-272-1111(内3238)

E-mail : c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 3,630千円 (現計予算額： 7,916千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	7,916	0	0	0	0	0	0	0	7,916
補 正 要求額	3,630	0	0	0	0	0	0	0	3,630
決定額	3,630	0	0	0	0	0	0	0	3,630

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- 岐阜県ドクターへリ基地病院（岐阜大学医学部附属病院）から遠方にある飛騨地域及び郡上市の救急医療提供体制を強化するため、富山県とは平成27年7月10日に、福井県とは令和4年10月21日に共同運航事業及び相互応援運航に係る協定を締結した。富山県との共同運航に係る負担金について、今年度の運航実績を踏まえ、補正予算にて増額する。

(2) 事業内容

- 富山県ドクターへリ及び福井県ドクターへリを、岐阜県でも活用することで、岐阜県ドクターへリの活動を補足、バックアップし、もって岐阜県の救急医療体制のさらなる強化を図るため、共同運航及び相互応援運航に必要となる経費を負担する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- 富山県との共同事業とし、岐阜県が事業に要する経費の一部を負担する。（出動実績に応じて負担することを実施細目に規定。）
- 福井県との相互応援運航とし、福井県から岐阜県への運航に対し岐阜県が事業に要する経費の一部を負担する。反対に、岐阜県から福井県への運航に対しては、福井県が事業に要する経費の一部を負担する。（出動実績に応じて負担することを実施細目に規定。）

(4) 類似事業の有無

- ・類似事業なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	3,630	富山県及び福井県ドクターへリの共同運航及び相互応援運航に係る負担金
合計	3,630	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第8期岐阜県保健医療計画

第3部－第2章－第6節救急医療対策

救急患者の早期治療着手と、広域的な患者の搬送により地域医療格差の是正を図るために、岐阜大学医学部附属病院を基地病院とするドクターへリの運航を継続します。

(2) 国・他県の状況

- ・ドクターへリ導入状況

導入済：47道府県・57機（R7.4時点）

- ・広域連携の状況（R4.5月現在）

協定締結：40府県28の協定が締結されている

(3) 後年度の財政負担

・運用方法等について岐阜、福井両県及び運航調整委員会等で検討しながら、継続実施していく。

・費用負担のあり方についても、運用状況に応じ岐阜、福井両県で検討し必要に応じて見直しを行っていく。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・富山県が導入するドクターへリを、共同事業の形で岐阜県でも活用するもの。

- ・福井県が導入するドクターへリを、相互応援運航の形で双方で活用するもの。

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県ドクターへリが他の事案に出動中のため出動できない「重複要請」等による未出動事案を減少させるなど、岐阜県ドクターへリの活動を補足、バックアップし、県民への救命救急医療提供体制を強化する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R ₀)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①富山県ドクターへリの岐阜県への出動件数	0件	23件	20件	20件	20件	115%
②福井県ドクターへリの岐阜県への出動件数	0件	6件	10件	10件	10件	60%

○指標を設定することができない場合の理由

（記入欄）

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	平成27年8月24日に開始した富山県ドクターへリ共同運航を継続。 令和4年度、富山県ドクターへリの岐阜県への出動件数は25件 令和4年11月1日より福井県との相互応援運航を開始。 令和4年度の実績は4件
	指標 目標：40件 実績： 29件 達成率： 72.5 %
令和5年度	平成27年8月24日に開始した富山県ドクターへリ共同運航を継続。 令和5年度、富山県ドクターへリの岐阜県への出動件数は19件 令和4年11月1日より福井県との相互応援運航を開始。 令和5年度の実績は3件
	指標 目標：40件 実績： 22件 達成率： 55 %
令和6年度	平成27年8月24日に開始した富山県ドクターへリ共同運航を継続。 令和6年度、富山県ドクターへリの岐阜県への出動件数は23件 令和4年11月1日より福井県との相互応援運航を開始。 令和6年度の実績は6件
	指標 目標：30件 実績： 29件 達成率： 96.6 %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	岐阜県ドクターへリの出動件数は年々増加しており、出動件数の増加に伴い、他の救急事案に出動中に別の出動要請が入る、「重複要請」も増加している。これらをカバーし、一人でも多くの救急患者の生命、健康を守るために必要性の高い事業である。
-----------	--

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり
2：期待どおりの成果あり
1：期待どおりの成果が得られていない
0：ほとんど成果が得られていない

(評価) 3	富山県ドクターへリが岐阜県へ出動することで、岐阜県ドクターへリ活動のバックアップし、飛騨地域の救急医療体制強化に寄与している。
-----------	---

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価) 2	共同運航に係る症例検討会を実施し、ドクターへリの運航や救急活動について検証と改善を行いながら実施していく予定となっている。
-----------	---

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

効率的な運航を行うため、関係者間で運航方法等について十分協議し、連携を図っていくことが必要である。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

症例検討会等において、運航状況や効果を検証し、内容の改善・充実を図りながら事業を継続実施していく予定。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	